

自己資本・経営効率の状況【単体】

自己資本比率（国際統一基準）

	2019年3月31日	2020年3月31日
1. 単体総自己資本比率（4/7）	12.56	12.70
2. 単体Tier1比率（5/7）	12.56	12.70
3. 単体普通株式等Tier1比率（6/7）	12.56	12.70
4. 単体における総自己資本の額	5,104	4,849
5. 単体におけるTier1資本の額	5,104	4,849
6. 単体における普通株式等Tier1資本の額	5,104	4,849
7. リスク・アセットの額	40,609	38,187
8. 単体総所要自己資本額	3,248	3,055

利益金

(単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期
経常収益	113,461	110,829
経常費用	91,541	95,353
経常利益	21,919	15,475
(経常収支率)(%)	(80.6)	(86.0)
業務純益	20,965	17,860
当期純利益	15,338	10,815

利鞘・利回り等

(単位:%)

	2019年3月期			2020年3月期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
資金運用利回り	0.77	2.74	1.03	0.71	2.72	0.98
資金調達原価	0.76	1.97	0.94	0.75	2.05	0.94
総資金利鞘	0.01	0.77	0.09	△0.04	0.67	0.04

利益率

(単位:%)

	2019年3月期	2020年3月期
総資産経常利益率	0.26	0.18
資本経常利益率	4.18	3.03
総資産当期純利益率	0.18	0.13
資本当期純利益率	2.93	2.12

(注) 1. 総資産経常(当期純)利益率 = $\frac{\text{経常(当期純)利益}}{\text{(期首総資産+期末総資産)}} \times 2 \times 100$ 2. 資本経常(当期純)利益率 = $\frac{\text{経常(当期純)利益}}{\text{(期首自己資本+期末自己資本)}} \times 2 \times 100$

●用語の解説

自己資本比率規制

銀行の自己資本比率規制については国際決済銀行（BIS）において、銀行業務の自由化、金融市場の国際化が進展するなかで、国際的な銀行システムの安定性の向上と銀行間の競争条件の平等化を図るための国際統一基準が定められています。この自己資本比率の目標比率は、1993年3月期以降8.00%以上と定められています。